



人と街を守るチームの一員になろう。

消防団員募集中



消防団や入団に関する詳しい情報は
【消防団オフィシャルウェブサイト】をご覧ください。

（お問い合わせ先）



総務省消防庁

Fire and Disaster Management Agency

Q.消防団ってなに？ どこの街にもあるの？

A: 全国の市町村にあります！

消防団は、その地域の方の安心と安全を守るという大切な役割を担っています。消防団員は、消防士とは違い、特別職の地方公務員(非常勤)です。普段は様々な仕事をしながら、地域を守るための活動をしています。

地域密着! 地域のこと詳しい
豊富な動員力! 全国で約76万人 / 消防士の約5倍
素早い対応! 普段の訓練に基づく迅速な対応

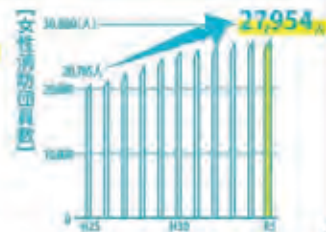
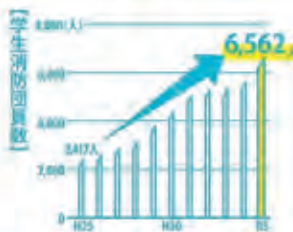
※消防団員は約1日換算

Q.どんな人がなれるの？

A: 地域に住む、または働く18歳以上の方が対象です！

※地域により入団要件は異なります。詳細は各地域の消防団のウェブサイトをご確認ください。

消防団には、会社員、自営業、公務員など、様々な職種の方がいます。最近では、学生や女性の方も増えています。普段忙しい方でも、無理のない範囲でそれぞれのライフスタイルに合わせた活動ができます。また、大規模な災害のときだけ活動するなど、特定の役割・活動を行う機能別団員制度もあります。



【編集後記】「能登半島地震」

元日に起きた能登半島地震は、日本の正月気分を一気に吹き飛ばした。犠牲になられた方々のご遺族に心からお悔やみを申し上げるとともに被災された皆様にお見舞いを申し上げます。家屋の倒壊や道路の寸断、ライフラインの断絶が被災者の救助活動や避難生活に大きな困難をもたらしている。特に懸念されるのがこの地域が積雪寒冷地であることによる影響で、乳幼児や高齢者など弱者の健康を守り、災害関連死を防ぐためにあらゆる努力が求められる。たまたま本誌の前号の論説でこの問題を専門とする日本赤十字北海道看護大学教授の根本昌宏先生に寒冷期の大規模災害時の避難行動・避難生活について、現場に即したきめ細かでわかりやすい対策をご教示いただいた。読者の皆様には、改めて熟読いただき、いざという時に役立てていただきたい。今回の災害については、今後その推移を踏まえながら逐次取り上げていきたい。被災者と被災地に1日も早く平穏な日々が戻ることを祈るものである。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2024年2月号(通巻54号)

- 発行日 令和6年2月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19(ヤクルトビル内)
- TEL 03(6280)6904 FAX 03(6205)7851
- URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社